



2013年8月29日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

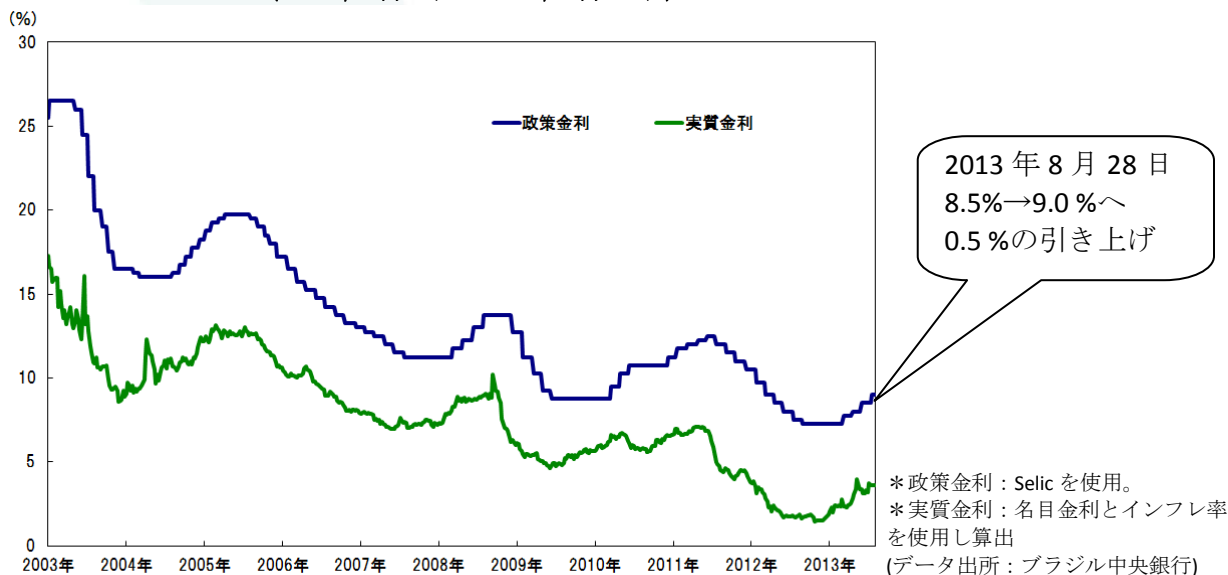
ブラジルの政策金利の引き上げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2013 年 8 月 27 日および 28 日に COPOM（定例金融政策委員会）を開催し、Selic（政策金利）の 0.5% 引き上げを決定しました。これによりブラジルの政策金利は年率 9.0% となりました。ブラジルの利上げは本年 4 月、5 月、7 月について本年 4 回目となり、政策金利は 1 年 4 ヶ月ぶりの高水準となりました。

ブラジル中央銀行は、継続している政策金利の調整プロセスの一環との姿勢をあらためて示し、追加利上げに含みを持たせる前回と同様の声明を発表しました。また、COPOM では全会一致で決定され、市場予想とも一致する結果であったとの報道がされております。

今回の利上げ決定の発表はブラジル債券・株式市場の引け後に行われており、利上げが市場では既に織り込み済みであったこともあり、為替市場は比較的落ち着いた推移を見せています。なお、29 日早朝の東京時間の為替市場では、シリア情勢の緊迫化による為替・商品市況への影響もあり、ブラジル・レアルは対円及び対ドルで若干軟調な動きとなっております。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2013年8月28日)



本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記の時点に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。